

科目名	国語科教育法Ⅱ	
担当者	嶋田 直哉 / SHIMADA, Naoya	
科目情報	教職専門科目 / 選択 / 後期 / 講義・演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	国語の指導法について学ぶ。実際に中学校・高等学校で使用されている教科書をもとにしながら、演習形式で国語科教育の方法を学ぶ。
	到達目標	『学習指導要領』に基づいた国語教育を実践し、授業を行える教材研究の力を身につける。その上で学習指導案を作成し、それに基づいた模擬授業を展開することができる。
授業計画	(1) 教材研究の方法 学習指導案の作成の方法1 (2) 教材研究の方法 学習指導案の作成の方法2 (3) 演習1 教材研究・学習指導案の作成 (中学校・文学作品) (4) 演習2 模擬授業と質疑応答 (中学校・文学作品) (5) 演習3 教材研究・学習指導案の作成 (中学校・説明的文章) (6) 演習4 模擬授業と質疑応答 (中学校・説明的文章) (7) 演習5 教材研究・学習指導案の作成 (中学校・表現的教材) (8) 演習6 模擬授業と質疑応答 (中学校・表現的教材) (9) 演習7 教材研究・学習指導案の作成 (高等学校・文学作品) (10) 演習8 模擬授業と質疑応答 (高等学校・文学作品) (11) 演習9 教材研究・学習指導案の作成 (高等学校・評論文1) (12) 演習10 模擬授業と質疑応答 (高等学校・評論文1) (13) 演習11 教材研究・学習指導案の作成 (高等学校・評論文2) (14) 演習12 模擬授業と質疑応答 (高等学校・評論文2) (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業中にわからない点があれば質問に来ること。
使用教材・参考文献	【教】『中学校国語3』(学校図書) 2013年 ISBN978-4-7625-5218-2 【教】『精選現代文改訂版』(筑摩書房) 2013年 ISBN978-4-480-90039-5	
成績評価方法と基準	〈基準〉中学校・高等学校国語科教科書の教材をしっかりと研究することができ、学習指導案を作成し、それに基づいた模擬授業ができる。 〈方法〉演習発表70%、受講態度30% ただし、それぞれ合格点を満たしていること。	
備考	国語科教育法Ⅰを履修している者のみが受講できる。	